

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記4

国立市立国立第七小学校

平成28年12月15日 NO.76 (376)

オー君 「ねえ花ちゃん。今年もあと少し。

よーし!がんばるぞ!

花ちゃん 「そうね。来年は『とり年』ね。」

オー君 「『とり年』・・・そうか、『やき
とりの年』か。食べたいな。」

花ちゃん 「ちがうわよ。干支のお話よ。
12支よ。モンタ博士に教えて
もらったでしょ。」(詳細はNO2-66)

オー君 「あ!そうか、今年が『さる年』
だから、こんどは『とり年』な
んだね。ところで、『とり』は『鳥』だけど、鳥ってどんな形してるのかな。」

花ちゃん 「そうね。人間とはずいぶんちがった形だけど、どんな体のつくりなの。」

モンタ博士 「はい。待ってました。モンタ博士の登場です。今年最後のお勉強は、鳥に
ついて学びましょう。さて、どんなことを知りたいのかな。」

オー君 「いろいろあるけど、鳥の大きさと、鳥のどこを見ればいいのか。」

花ちゃん 「私たちは、身長をはかって、大きいとかを決めるけど、鳥にもそういうの
があるのですか。」

モンタ博士 「鳥の場合、大きさを決めるのには2つあるんだ。

1つは口ばしの先から尾の先まで、もう1つは、

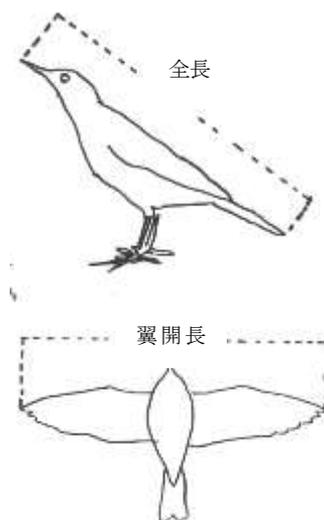
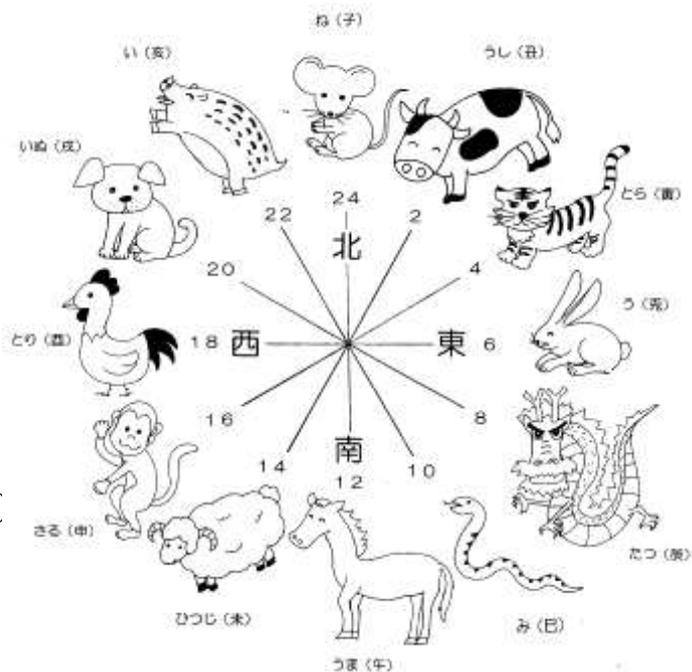
翼を大きく開いた時の長さなんだ。それから、

人間では、胸とかひざこぞうとかあるだろう。

鳥にも体のいろいろな所の名前があるんだ。

覚える必要はないけど、知っておくと便利だね。」

花ちゃん 「いろいろなあるんですね。しっかりと勉強します。」



モンタ博士「ところで、鳥を見る時のポイントって
どんなことがあったかな。」

オー君「まず、身近な鳥から見るという
ことですね。学校の行き帰りとか。
近くの川や野原で見るということでしょう。」

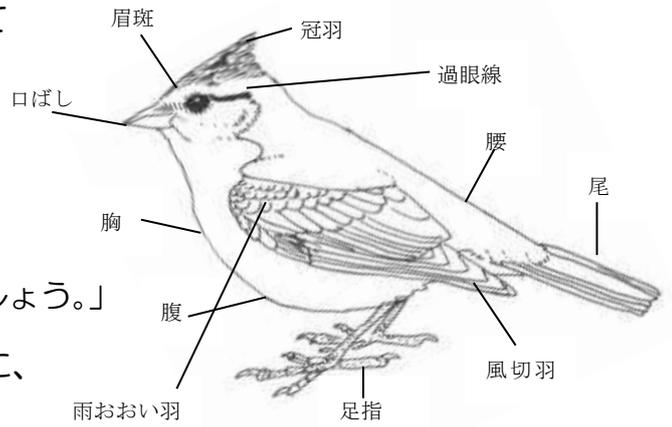
モンタ博士「2人ともOKだね。おっと、その前に、
ポイントとは何か。分かるかな。」

オー君「ポイントは…ポイントだ。だから、ポイントなんでしょ。」

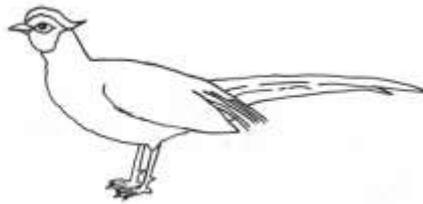
モンタ博士「ポイントというのは、見る時の大切なところということさ。」

花ちゃん「ただ、何となく見るというのでは、だめだということですね。」

モンタ博士「そのとおりだ。見るところがはっきりしてくると、観察は、楽しいものになるね。まず、鳥の形のちがいと姿勢のちがいだよ。下の絵を見てごらん。
何か気がつかないかな。」



カラス (ふつう)



キジ (よこなが)

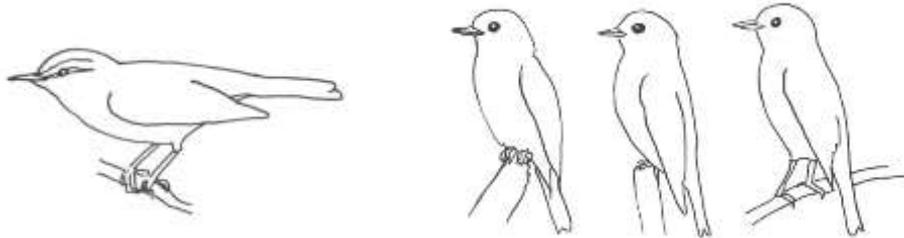


サギ (たてなが)

花ちゃん「なるほど。カラスのような形の鳥にくらべると、キジは横長に見えるし、
サギはたて長だわ。くらべてみるとよく分かるわ。」

オー君「本当だ。今までよく気がつかなかった。」

モンタ博士「気がつかなかった所に、気がつくことが大切だね。では、次は、鳥のとまっているときの姿勢のちがいだよ。くらべてごらん。」



オー君「水平にとまる鳥もいれば、直立してとまる鳥もいるんだ。なるほどね。」